

山下地域は、青葉区寺家町方面から延びた多摩丘陵の東南端に位置する標高約37mの丘陵地です。丘陵上は平坦地が広がり、古くから畑地として利用されてきました。その眼下には北側を鶴見川（谷（や）本（もと）川）が、南側を恩田川が流れ、中山町落合で鶴見川本流に合流し東京湾へと東下しています。この丘陵地は日当たりが良く良好な自然環境にあるため原始・古代から人々が居住してきました。西八朔町の藤林遺跡は、稲作が本格的に始まった弥生時代中期後半の恩田川左岸における中心的な環濠集落跡です。中世には鎌倉道が十日市場町から古社杉山神社付近を通して青葉区荏田町方面へと向かっていました。その後、近世・近代の村の時代を経てきた悠久の歴史を秘めた土地といえます。

なお、山下地域の人口は、明治8年（1875）に941人で、平成29年8月31日現在では16,596人の人々が居住しています。

町名の由来

Origin of the town name

◆北八朔町【昭和14年4月1日設置】

昭和14年の横浜市編入の際、都筑郡中里村大字北八朔から新設した町。昭和44年10月1日の行政区再編成にともない、(旧) 港北区から編入。古くは都筑郡北八朔村といい、明治22年の市町村制施行の際、寺家村、鴨志田村、成合村、上谷本村、下谷本村、鉄村、黒須田村、大場村、市ケ尾村、西八朔村、小山村、青砥村、下麻生村飛地と合併して中里村大字北八朔となる。町名は旧村名を採った。『新編武蔵風土記稿』の「北八朔村」に「八朔は仮借の字にて『倭名類聚鈔』の郷名にのせたる針折の地なるべきことは、既に郡の惣説の下に辨せし如くなり」とあり、「都筑郡総説」に「針折（罰佐久）此郷名も正しきことを傳へず、按するに今の八朔村もしくは遺名なるべし、八朔は郡の中央にあり、かの村の條にも出せし如く、後にいつの頃にや八朔と書改めしならん、元龜永祿の頃に今の文字に書来れば、古きことなるべし」の記録がある。東側を鶴見川が流れ、北西側を東名高速道路が通る。

◆西八朔町【昭和14年4月1日設置】

昭和14年の横浜市編入の際、都筑郡中里村大字西八朔から新設した町。昭和44年10月1日の行政区再編成にともない、(旧) 港北区から編入。古くは都筑郡西八朔村といい、明治22年の市町村制施行の際、寺家村、鴨志田村、成合村、上谷本村、下谷本村、鉄村、黒須田村、大場村、市ケ尾村、北八朔村、小山村、青砥村、下麻生村の飛地と合併して中里村大字西八朔となる。町名は旧村名を採った。北側を東名高速道路が通る。町内に横浜商科大学みどりキャンパスがある。

◆小山町【昭和14年4月1日設置】

昭和14年の横浜市編入の際、都筑郡中里村大字小山から新設した町。昭和44年10月1日の行政区再編成にともない、(旧) 港北区から編入。古くは都筑郡小山村といい、明治22年の市町村制施行の際、寺家村、鴨志田村、成合村、上谷本村、下谷本村、鉄村、黒須田村、大場村、市ケ尾村、北八朔村、西八朔村、青砥村、下麻生村飛地と合併して中里村大字小山となる。町名は旧村名を採った。南側を恩田川が流れ、田園風景が広がっている。

◆青砥町【昭和14年4月1日設置】

昭和14年の横浜市編入の際、都筑郡中里村大字青砥から新設した町。昭和44年10月1日の行政区再編成にともない、(旧) 港北区から編入。古くは都筑郡青砥村といい、明治22年の市町村制施行の際、寺家村、鴨志田村、成合村、上谷本村、下谷本村、鉄村、黒須田村、大場村、市ケ尾村、北八朔村、西八朔村、小山村、下麻生村飛地と合併して中里村大字青砥となる。町名は旧村名を採った。地元では「青砥」の由来について、鎌倉時代の武士、鎌倉幕府の評定頭、青砥左衛門藤綱が居住していたからだという。青砥藤綱のことは『弘長記』や『太平記』に記されているだけで、『吾妻鏡』には記されておらず、実在の人物であるかは不明。地名研究で「アオト」は「川辺の地、湿地」を意味するという。東側を鶴見川が流れ、南側を恩田川が流れる。

※上記の町名の由来は全て、横浜市民局総務部住居表示課（現市民局窓口サービス課）が平成8年12月に発行した『横浜の地名』を転載しました。発行時から10数年の歳月が経ち、現状にそぐわない箇所もございますが、著作権の関係で、本文は発行当時のものとなっております。現状および、語句の解説等については、各項目の本文の後に、記載させていただきます。あらかじめご了承ください。

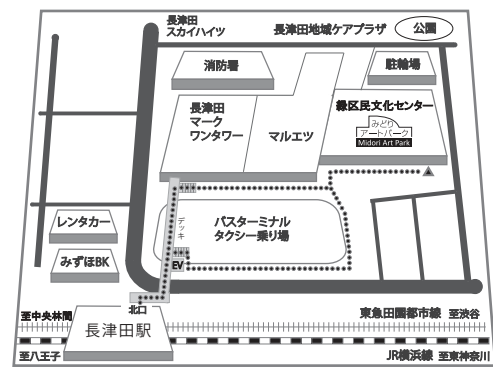
お問い合わせ・アクセス

横浜市緑区民文化センター みどりアートパーク

〒226-0027 横浜市緑区長津田二丁目1番3号  
 TEL : 045-986-2441 FAX : 045-986-2445  
 E-mail : otoiawase@m-artpark.com  
 Web : http://www.m-artpark.com/  
 《開館時間》9:00 ~ 22:00（受付窓口は21:00まで）  
 《指定管理者》みどりアートコミュニティ

JR 横浜線、東急田園都市線・こどもの国線  
 「長津田駅」北口より徒歩4分。

※みどりアートパークには専用の駐車場はございません。  
 公共交通機関のご利用をお願いいたします。  
 ※身体障がい者（車イス利用）の方の車でのご来館については、あらかじめご相談ください。



みどりアートパーク公募写真展  
**山下地域の風景**

2018  
**2.14-19**  
 水 月  
**10:00~17:00**  
 最終日は 15:00 まで

主催 横浜市緑区民文化センター みどりアートパーク  
 共催 山下地域交流センター  
 協力 山下みどり台小学校コミュニティハウス  
 山下連合自治会  
 相澤雅雄（地域史研究家）  
 フォト・ヨコハマ2018 パートナーイベント